

# きずな

公益社団法人 つくば市シルバー人材センター  
健康で 楽しく 幸せに

2023.10

Vol.044



## 目次

- 
- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| ◎令和5年度上半期活動から最終見込   | ◎健康体操教室      |
| ◎女性活躍委員会とまつりつくば2023 | ◎カラオケ同好会発足   |
| ◎センターの活動報告          | ◎つくば市自転車駐輪場  |
| ◎自転車部               | ◎増える豪雨災害     |
| ◎我が家の花たち            | ◎歴史に学ぶ       |
| ◎会員になるためには          | ◎初心者向けスマホ講習会 |
| ◎認知症サポーター養成講座       |              |

## 〈令和5年度上半期活動から最終見込〉

令和5年度にはいり、早くも5カ月経過しましたが、8月までの状況及び今年度の最終見込みを(1)会員拡大(2)就業拡大(3)後継者育成の3項目から、説明していききたいと思います。

### (1) 会員拡大について

令和5年3月末の会員数は、584人(男387・女197)と対前年比35人の減少でした。この要因は、「女性のつどい」の開催および、且つ、出張説明会・審査会の復活をさせましたが、コロナ禍の影響もあり、会員数は減少しました。しかし、5月に感染症法の類型が第5類に引き下がり、説明会の出席者も増加し、8月末会員数は、630人(男419・女211)と3月比46人増となりました。今後は、説明会15回(定例7回・出張6回・女性単独2回)開催し、且つ新入会員紹介制度の活用・悠々会員制度を充実させ、令和6年3月末会員数700人を目指して全員で頑張っていきます。

※特に、新会員の紹介、是非、御願ひ致します。

### (2) 就業拡大について

就業拡大は、令和元年度に着手して、当初はタウンページから、理事全員が開拓(①金融機関②スーパー③病院④農協⑤特養老人ホーム)を実施し数社契約並びに見込み先多数社ができました。しかし、2年度後半から、コロナ禍の為訪問交渉は一切不可となり、約2年半、開拓がブランクとなりました。しかし、コロナ禍も

落ち着き、ようやく、令和4年秋に就業開拓委員会が復活となりました。しかし、本格的に活動ができたのは、令和5年2月頃からでした。そして、開拓班を3分割「①新規独自事業班②新規開拓班(新聞求人情報)③その他(金融機関・農協・特養老人ホーム)」にて展開、8月迄に契約が数社できました。また、今般、「つくば市工業団地企業連絡協議会」の事務局となっている「つくば市経済部産業振興課」の紹介により、「9工業団地」156社との開拓が可能となり、10月から、全理事と就業開拓委員(計12名)が開拓する予定となりました。

### (一人あたり約13社担当する)

以上により、令和5年度の新規開拓企業数は30社を目標に全員で、頑張っていきます。

また、併せて「未就業会員」対策として、未就業会員(271人)に対し、早急にアンケート調査を実施し、就業率アップを図っていきます。

※なお、シルバーへ紹介できる新規企業がありましたら、事務局へご連絡ください。

### (3) 後継者育成について

シルバーの全ての事業を存続させるためには、後継者の育成が喫緊の課題です。特に、剪定、襖・障子はり、自転車修理作業などは、高い技術が求められ、技術習得のために多くの経験と時間が必要です。また、県シ連主催の「技術講習」が毎年、開催されていますが、募集定員が10名程度と少なく、且つ、茨城県全シルバー対象の為、開催場所も「襖・障子はり」以外は、つく

ば市外の開催場所であり、今後は県シ連とは別の、つくば独自の後継者対策が必至と思料されます。

今後の「後継者講習(勉強会) 予定」

- ①「襖・障子はり」↓「茎崎地区活動」11月
- ②「剪定」↓「事業部・安全委員会」12月
- ③「草刈・草取」↓「安全委員会」安全パト
- ④「自転車修理作業」↓「自転車部」OJT

(理事長 小杉晴彦)

つくば市工業団地 (9団地:156社)

	団地名	住所	企業数	その他
1	上大島工業団地	つくば市 上大島	30	
2	筑波北部工業団地	つくば市 和台、北原	22	
3	つくばテクノパーク 大穂	つくば市 大久保	11	
4	つくばテクノパーク 豊里	つくば 緑ヶ原	25	
5	東光台研究団地	つくば市 東光台5丁目	29	
6	筑波西部工業団地	つくば市 御幸が丘	14	
7	つくばリサーチパーク羽成	つくば市 観音台1-25	7	
8	つくばみどりの工業団地	つくば市 片田	10	
9	つくばテクノパーク 桜	つくば市 桜	8	

入会説明会出席者数 (月別)

開催月	令和5年度	令和4年度
4月	25名	11名
5月	16名	7名
6月	16名	12名
7月	11名	8名
8月	13名	0名
9月	22名	8名
計	103名	46名

(注) きずなの中では「つくば市シルバー人材センター」を「センター」と称する場合があります。

### 〈女性活躍委員会とまつりつくば2023〉

コロナウイルス感染症騒ぎのために3年間も中止を余儀なくされたまつりつくばが、令和5年8月26日、27日の2日間、つくばセンター広場を中心にした会場の各所で行われました。わがつくば市シルバー人材センターも、協賛団体としてふれあい広場に2ブースを設けての参加です。今回は、老若男女をとわず、市民のまっりに対する期待と興奮が熱気となつて会場全体に立ち込めた感があり、どこにこれだけの人たちがいたんだろうかと思うほどの、人、人、人の波です。夕刻以降は、ねぶたパレードを見ようとすると人たちがさらに集まり、身動きができないほどでした。また、多くの子どもたちの姿を見ることができたので、平和な日本をありがたく感じた次第です。



### やまびこ

2011年東日本大震災直後の市民講座で、地熱エネルギー研究者たちの発表があった。地熱エネルギーの開発と実用化は進んでおり、わが国は世界有数の火山国として、数少ない「自前のエネルギー源」をもっている。だが、全熱源に対して地熱エネルギーが占める割合は、常に「約0.2%」にとどまっていると悔しそうに語る姿が印象的だった。エネルギー確保はわが国の生命線。地熱発電も選択肢の一つとして、国の強力な推進が絶対に必要な。なぜ増えない。

## センターの活動報告

### 【理事会】

6月～8月、令和5年度第3回～6回の理事会を開催し、諸案件が報告、協議されました。また、総務部会・事業部会・地区統括部会及び各委員会等の報告並びにそれぞれの承認事項について協議されました。

その他、主たる承認事項等

- (1) 令和5年度定時総会について
- (2) 個人情報情報の第3者への提供について
- (3) 中期事業計画の進捗状況について
- (4) 資産処分（今鹿島物置等）について
- (5) まつりつくばについて
- (6) 規程集（改訂第5版）発刊について
- (7) 最低賃金に伴う交渉について（10月以降）

### 【事業部会（班長会議）】

8月30日10名の班長と小杉理事長、酒井事業部会長、5名の事業部会会員の参加で開催しました。議題は 1. 各地区の受注件数と納期時期 2. ごみ処分の対応 3. 軽トラックの使用 4. 班長の後任者について話し合いが行われました。活発な意見が出ました。特に納期の問題、熱中症対策で休み休みに作業をするので時間がかかる事。コロナ対策も必要。班長の後継者の問題で



は成り手がいない、見積もりなど経験が必要な事などで、班長をやる人がいない。班長の任期を2年で交代するなど対策が必要かも。ごみ処分も量の問題があり少ない量では難しい。軽トラックも無い班があるなど課題の多い会議でした。これら課題を持ち帰り理事長、部会長の判断が待たれます。

### 【地区統括部会（2023秋）】

地区の会員が集まって楽しめる何かを重ねて、地区内の会員同士のつながりを作ります。そうしていくうちに、自分たちが楽しむことだけでなく、さらに地域との交流や子供たちとの関わり合いが企画されていく、そういったことが生まれればいいと思います。例えば、荃崎地区では、くまざき夢まつりにSJCのブースを設けて地域交流を図ります。桜地区では、ハッピーハウスが常設され子供の居場所づくりにチャレンジしています。自分たちができる範囲でみんな何かを生み出していく、そんなことが各地区で企画されていければいいと思います。

### 【総務部会】

令和5年9月総務部会での会議は次の通りです。今年8月の初心者会員向けスマホ教室では、基本的な操作法学習でしたが、次の機会も期待する声があがっていました。新入会員向けセミナーが10月17日、入会3・6年の会員向けリフレッシュ講習会が10月26日実施されます。会員待望の同好会がいよいよ動きはじめ、ゴルフ、カラオケ、ガーデンング、イキイキ体操、麻雀、

囲碁と内容が整ってきました。PR活動のポスティングは、10月に豊里地区で行う予定です。ICT化推進は作業を続けます。

### コラム

#### ものは考えよう 莊子の世界観

つきあいが難しい隣の中国。意外に激しく、難解な面がある中国人。その中国には古代から、儒教（孔子）、老荘（老子、莊子）、仏教という概ね三つの思想があり、儒教は体制側で、老荘思想は民衆のよくな非体制側で支持されて道教の一流流となり、いずれも中国人の社会にいまもつよい影響を与えている。日本でも企業のセミナーなどで引用されることがある莊子とは、姓を莊、名を周、紀元前4～3世紀頃の戦国時代の思想家。儒家を批判して、人間本来がもつ姿に帰れという「無為自然」の道を説く。彼の考えが『莊子』という書物で伝わるが、寓話が多い。その中の「無用の用」の話とは、「一見無用のようにみえても、大いに役立つこともある、小さく考えるな。魏の宰相である恵施が莊子に、「魏王からいただいたヒサゴの種で大きなヒサゴがなったが、大きすぎて使いものにならずに壊した」。莊子の話が大きすぎると皮肉ったのだが、莊子曰く「考え方が下手。ある遊説家が、ヒビやアカギレの妙薬製造を業とする貧しい人からその秘伝を買取り、呉の国へ行った。呉越国の間で戦争が起きると、彼は呉の將軍に任ぜられて冬の船軍で、この薬のおかげで越軍に大勝した。おかげで、土地をあたえられて領主となった。ものは考えようだよ。大きなヒサゴを樽の浮袋にして、水に浮かべてたのしむとか考えればよかったのに」。いまの中国の言動には強い抵抗感があるが、莊子の話には不思議な納得感がある。

【自転車部】

来年の4月の筑波大学新入学生に販売する、自転車の再生作業の様子です。大学卒業生や市民から不要になった自転車を引き取り、筑波大学の中にある再生作業場で、1台1台点検作業をして綺麗に磨いたり不良のパーツを交換したり、安全で安心な自転車を再生しています。1台の自転車を再生する時間は交換するパーツが少ない時で5時間位です。自転車に錆びが多い時や部品交換作業が多い時は2日間（10時間）位作業時間がかかります。猛暑のため、8月の完成車は0台です。9月から来年の3月末迄に最低でも70台再生自転車が必要です。暑い中ですが、自転車部員全員で頑張って毎月最低10台再生自転車の備蓄を目指します。（久保田）



《我が家の花たち》

今我が家の庭には、バラ11本とクレマチスやクリスマスローズなど宿根草21種類の花が植えられています。今の時期はパンジーやビオラとトルコギキョウの種まきをしています。種まき用の培土とセルトレイ（36穴）を使用して種まきします。種まきする前に培養土に水をしっかりやります。パンジーやビオラは種が隠れる位に土をかけます。トルコギキョウは好光性（光が無いと発芽しない）の為土は掛けません。日が当たらず涼しくて風通しの良いところで、芽出しをします。水やりは霧吹きで優しくやります。じょうろでやると種が流れてしまいます。1週間くらいでパンジーやビオラは芽が出てきます。芽が出そろったら、日の当たる涼しいところで育てます。本葉4枚から5枚くらいに割りばしやピンセットで9cmのポットに植え替えます。直接日光の当たらない日陰に置き、水やりします。葉がポット全体に広がったらプランターや花壇に植えます。10月でも種まきが出来ます。春の4月から5月ごろまで花を楽しめます。手入れは時々液肥や花柄摘みと水やりです。自分で種まきすると苗の成長と花が咲いた時の喜びが最高です。ジャーマンアイリスやクリスマスローズは植えっぱなしで大丈夫です。クリスマスローズは10月から肥料を与えたり、古い葉を取り除きます。又グラントカバーであるイブキジャコウ草は這うように広がります。春先に綺麗な花が咲きます。お手入れいらずです。季節の花を植えて、花いっぱいのお花壇にしませんか。

水やりなどで大変ですが花たちに癒されます。種まきなど花の育て方には、やり方があります。参考にしていただければ幸いです。（久保田）



【会員になるためには】

シルバー人材センターの会員になるためには、まずセンターが毎月第2木曜日に大穂庁舎内にあるセンターの会議室で開く（臨時的に地区で開催する場合もあります）「入会説明会・審査会」を受ける必要があります。8月22日荃崎交流センターで行われた入会説明会・審査会では、小杉理事長の挨拶につき、DVDによりセンターの沿革、組織、就業、安全、保険等々の説明があり、その後、入会希望者の面接が行われました。通常は約1ヶ月後、センターからの連絡により、入会の手続きが行われる予定です。



【認知症サポーター養成講座】

認知症について学び地域で支えるサポーターが必要とされるなか、〈認知症サポーター養成講座〉が令和5年8月17日に開かれ、センターの会員と事務局職員たち30名近くが受講しました。講座を通じて認知症をたたく理解し、偏見をもたず、地域に暮らす認知症の人やその家族を、できる範囲内で、温かく支援するのが認知症サポーターの役割であり、われわれ高齢者のサポーターの養成も、この講座の目的です。

講師のみなさんは、全国で認知症サポーターを養成する「認知症サポーターキャラバン」のメンバーの一つとして、つくば市内各所で働く医療、保健、福祉など幅広い活動に携わっている人たちです。講義だけでなく、ちょっとした寸劇まで披露された役者のみなさんの意気ごみには感動を覚えたほどです。

【健康体操教室の開催 豊里地区】

8月22日、豊里交流センターにおいて健康体操教室が開催されました。酷暑の中、6名の会員と市からインストラクター2名が出席しました。

インストラクターによる各人の健康チェックとカルテへの記入、続いて高齢者の真夏の生活についての講話があり、栄養バランスの取れた食事、特にタンパク質の摂取が大切との話を聞きました。この後、音楽とインストラクターの



掛け声に合わせた体操とボールを使用した運動を行いました。豊里地区は健康体操教室を恒例で開催しており、他地区への広がりも期待する地区活動だと考えます。暑い中、ご苦勞様でした。

【カラオケ同好会発足】

土田理事の奔走により、会員数14名を有する、カラオケ愛好家待望の〈カラオケ同好会〉が、令和5年9月3日ビッグエコー天久保店で発足式（写真1）と記念大会が行われました。この日の出席者は、小杉理事長、土田理事ふくめ、合計10名です。土田理事から同好会設立の趣意が発表され、出席者全員の賛同により、土田理事が初代会長、会計係鬼塚さんが選出されました。面倒な規約や経済的負担は避けて、好きな歌を思いきり歌って、人生を謳歌しようというのが会の目的です。このあとはお待ちかね、カラオケ三昧の楽しい一時（写真2）でした。



写真2



写真1

## つくば市自転車駐輪場

TXつくば駅が隣接し、バスターミナルに直結するつくばセンター広場の周辺には、自転車（原付きバイクなどもふくむ）を一時または月極めである公共の自転車駐輪場が十数ヶ所もあり、管理人のいる窓口が「つくば市自転車管理事務室」です。ここでは、つくば市シルバー人材センターの会員が合計17人で交代のシフトを組み、管理・指導・調査業務などに就業中です。市民の足を預かるので、防火・防犯などの安全面には慎重な対策が講じられ、訓練などにも必要に応じて行われています。

令和5年7月25日、就業会員を対象にして消



移動式粉末消火器の取り扱い説明



水消火器で消火訓練



駐輪場内の預かり自転車群



駐輪場事務室



訓練に参加した会員たち。  
左から、高島、遠藤(就業中でマスク着用)、菊澤、村野、中根、石川

火施設の説明と模擬消火訓練が行われました。防災関係の専門業者により、自転車の乗り入れなどの法的規制、火災発生時の対応、消火設備（粉末式）の点検や確認、緊急時の避難、火災検知器の点検と確認、最後は水消火器を使つての消火訓練という、なかなか充実した消火訓練です。目立たないことですが、就業会員たち自らが進んで、駐輪場周辺の美化・清掃運動を毎日続けていることも付け加えておきます。（山内）



## 増える豪雨災害に備えよう

日本各地が台風2号の影響による豪雨で被害をこうむった令和5年6月2日朝、茨城県南部では地元河川溢水の注意を促す市の防災無線放送があった。その日は稲荷川の水位が高く、水田が湖のように冠水していた（写真1）。今までにみたことがない光景だ。幸いにも、その後の稲の成長は順調に見える（写真2）。近年は台風や豪雨による災害が増えている。ふだんから災害マップで災害想定地域や避難場所を確かめておくことが大切だ。



写真1



写真2



## 〈歴史に学ぶ〉

### 戦時下の常磐線列車衝突事故

かつて得意先の責任者K氏と輸出の商談をかさねていたときに、筆者がつくば市に住み常磐線牛久駅から都内へ通勤していることを知ったK氏が無念の面持ちで語りはじめた。昭和18年10月26日夜、常磐線土浦駅構内で列車の三重衝突事故により、多数の死傷者が発生した。K氏のお兄さん、当時は中学生くらいが列車に乗っていて、不運にも事故で亡くなられたそうだ。復刻版の朝日新聞昭和十八年十月二十七日夕刊では、戦時の厳しい報道管制下だが、「土浦線の三重衝突惨事」と報道している（二面扱いではない）。当夜、土浦駅構内で貨車入れ換え作業中に脱線したところへ上りの貨物貨車が激突し転覆、そこに上野発平行き下り旅客列車が乗り上げて転覆大破、4両目の客車は桜川橋梁から墜落、水没した。事故直後から、鉄道、軍、民の人たちが総出で救助にあつたが、記事には「死者57名、重軽傷者77名、なお相当死傷者ある見込みで、水没客車にはまだ多数の乗客が未救出」と書かれている。戦後、事故現場近くで慰霊祭



犠牲者氏名が刻まれた慰霊碑背面。右後方は常磐線桜川鉄橋

碑には、死者96名、負傷者百余名と刻されている。戦後、国鉄（現JR）も事故の教訓としてこの慰霊碑を大切にしていると聞く。しかし常磐線では、昭和37年5月3日三河島駅構内で、列車脱線多重衝突事故により、死者160名、負傷者296名の大惨事がおきている。（山内）

### 〈初心者向けスマホ講習会〉

いまやスマホは生活の必需品になっています。とはいえ、センターの「高齢」会員の中には、一般的なスマホの使い方やLINEなどのアプリの操作に手を焼いている御仁も少なくないようです。センターではそういう人たちに向けて超やさしい講習会を企画し、8月下旬実施しました。目からウロコだったことは、アプリを簡単に終了させる方法でした。なんとなく自信のないみなさんは、2回目以降の講習会も期待したのではないのでしょうか。



が定期的に行われるようになり、K氏は欠かさずに出席したそうだ。近年、小生が訪れた慰霊碑（写真）は、常磐線土浦駅構内の桜川寄りにあり、K氏のお兄さんの名も刻まれている。慰霊



### 「事務局からのお知らせ」 （入会説明会・審査会）

毎月第2木曜日 13時30分

大穂庁舎3階シルバー会議室

月日	時刻	場所
11月20日(月)	13時30分	《豊里地区》 豊里交流センター
12月19日(火)	13時30分	《茎崎地区》 茎崎交流センター
1月23日(火)	13時30分	《谷田部地区》 市民ホールやたべ

### 【表紙の写真】

つくば市郊外には竹林が多く、よくみかけるのが表紙の孟宗竹。とにかく成長のスピードが速い。NIKON D7000 17(50mm) F2.8 オート。

